

1. がん保険 保険種類別の対象可否について

当社の主ながん保険および特約MAXの対象可否につきましては、以下の表をご確認ください。
 詳しい保障内容につきましては、保険証券または「ご契約のしおり・約款」をご確認ください。

○…対象 ×…対象外

保険種類		悪性新生物(※)	上皮内新生物(※)	その他の病気・ケガ
・新 がん保険Days ・新 がん保険Daysプラス ・がん保険Days ・がん保険Daysプラス ・がん保険f (フォルテ) ・ご契約者のためのがん保険f (フォルテ) ・21世紀がん保険		○	○	×
・スーパーがん保険 ・新がん保険 ・がん定期保険	上皮内新生物特約あり ※充実PACKには、 上皮内新生物特約が 含まれます。	○	○	×
	上皮内新生物特約なし	○	×	×
・がん保険・優しいがん保険		○	×	×
・特約MAX		×	○	○
・特約MAX21		×	×	○

※ 悪性新生物および上皮内新生物の詳細につきましては、「2. 悪性新生物について」、「3. 悪性新生物と上皮内新生物の違いについて」をご覧ください。

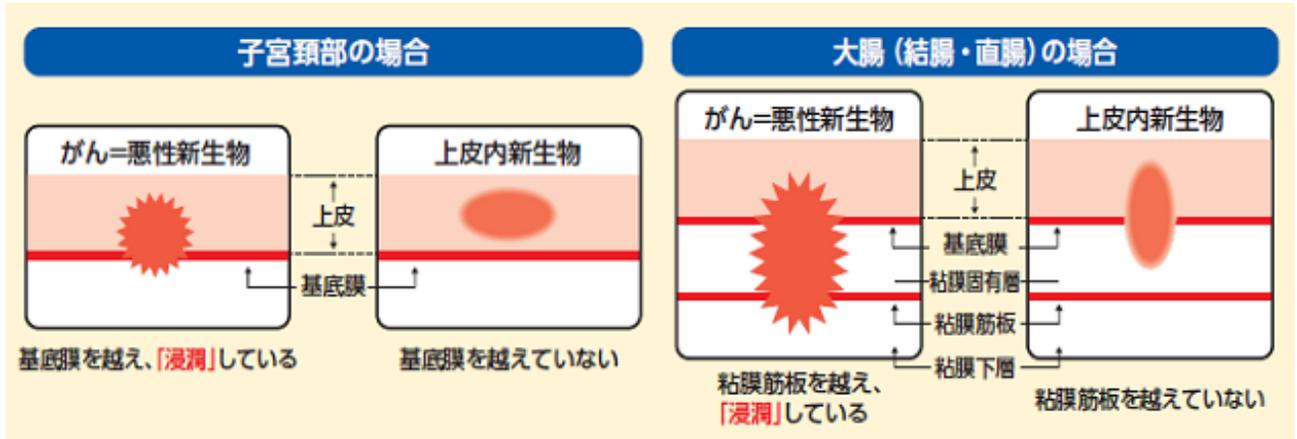
2. 悪性新生物について

私たちの体は、約60兆個の細胞でできています。正常な細胞の核の中にある遺伝子(DNA)が細胞分裂をするときに、突然変異を起こすと変異細胞が現れます。この変異細胞は、細胞分裂を促す「がん化促進因子」によって細胞のがん化を起こし、さらに、分裂・増殖して腫瘍を形成します。このようなメカニズムでできた腫瘍が「がん」です。

がんは、がん細胞が周りの正常な細胞に侵入したり(これを浸潤という)、血管やリンパ管を通過して体のあちこちに定着して増殖(これを転移という)する性質があります。がんは、他の病気にはない「浸潤」「転移」という悪い性質を持っているため、再発したり死に至る可能性がある怖い病気なのです。医学用語で「がん」のことを「**悪性新生物**」と呼んでいるのは、この悪い性質があることによります。

3. 悪性新生物と上皮内新生物の違いについて

上皮内新生物は、腫瘍細胞がそのまま上皮内(大腸については「粘膜筋板までの中」)にとどまっている、すなわち浸潤をしていないことが、悪性新生物との大きな違いです。これらの病変は、上皮外に浸潤していないので、転移もしません。したがって、多くの場合、良性新生物と同様の手術で根治します。具体的には、上皮内がん、子宮頸部の高度異形成・中等度異形成、大腸の粘膜内がん、皮膚のボーエン病などのことです。



《よくお問い合わせいただく悪性新生物の該当可否について》(五十音順)

○…該当 ×…非該当

該当可否	病名	備考
○	悪性黒色腫	皮膚がんの一種 ただし、「 上皮内 黒色腫」、「 若年性 黒色腫」は上皮内新生物に含まれるため、非該当
○	悪性脳腫瘍	良性の脳腫瘍は非該当
○	悪性リンパ腫	
×	異形成 (軽度～、中等度～、高度～)	食道や子宮頸部にできるものが多い
○	移行上皮がん	がんの病理名の一つ ただし、「 上皮内 移行上皮がん」は上皮内新生物に含まれるため、非該当
×	下垂体腺腫	
○	カボジ肉腫	
○	基底細胞(上皮)腫	皮膚がんの一種
×	筋腫	
×	血管腫	

○…該当 ×…非該当

該当可否	病名	備考
○	骨髄腫	
○	骨肉腫	
×	上皮内がん (上皮内新生物)	
×	子宮頸がん0期	上皮内新生物に含まれるため、非該当 (子宮頸がん I 期以上は該当)
×	子宮内膜症	
×	脂肪腫	
○	成人T細胞白血病	
○	セミノーマ(精上皮腫)	悪性の精巣腫瘍
×	腺腫	
×	大腸粘膜内がん	上皮内新生物に含まれるため、非該当
○	多発性骨髄腫	
×	肉芽腫	
○	パジェット病 (ページェット病)	主に皮膚・乳房にできる
○	白血病	
○	非ホジキン病	
×	ベーチェット病	
×	平滑筋腫	
○	平滑筋肉腫	
○	扁平上皮がん	がんの病理名の一つ ただし、「 上皮(表皮)内 扁平上皮がん」は上皮内新生物に含まれるため、非該当
×	ボーエン病	上皮内新生物に含まれるため、非該当
○	ホジキン病	
×	ポリープ	通常は良性
○	メラノーマ	悪性黒色腫に含まれる
×	卵巣嚢腫	

保険金・給付金をご請求されるお客様において、がんの定義等についてご不明な点がある場合、または当社の保険金・給付金のお支払いに関する判断基準となる、厚生労働省、WHO等の国際機関の資料を確認されたい場合は、下記までご連絡ください。

ご不明な点がございましたら、当社までご連絡ください。

アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社) 東日本・西日本保険金部 電話番号:0120-555-877